

米づくり情報(平坦部) 第2号

令和7年7月9日

佐賀県農業試験研究センター 本場

本年産水稻の生育状況(7月9日)

移植日	項目 品種	年次	草 丈 cm	茎 数 本／㎡	葉 齢 L	葉色 SPAD	概 況 (平年または前年との比較)
6月18日	夢しずく	本 年	30.2	268	7.8	35.6	[気象] 7月1日～8日まで ◆平均気温…4.8℃高い ◆日照時間…長い (平年比 290%) ◆降水量…少ない (平年比 3%) [生育] ◆草丈 「夢しずく」、「ヒノヒカリ」、「さがびより」は低く、「ひなたまる」、「ヒヨクモチ」はやや低い。 ◆茎数 全品種で多い。 ◆葉齢 「夢しずく」、「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」、「さがびより」は進んでいる、「ヒヨクモチ」はやや進んでいる。 ◆葉色(SPAD 値) 「夢しずく」、「ひなたまる」、「ヒヨクモチ」は濃い、「ヒノヒカリ」、「さがびより」は平年並み。
		平 年	34.7	193	7.2	30.3	
		平年比(差)	87	139	(+0.6)	(+5.3)	
	ヒノヒカリ	本 年	25.4	329	8.2	36.6	
		平 年	28.7	250	7.4	36.9	
		平年比(差)	89	132	(+0.8)	(-0.3)	
6月20日	ひなたまる	本 年	31.8	295	8.4	40.5	
		前 年	33.1	196	7.7	36.9	
		前年比(差)	96	151	(+0.7)	(+3.6)	
	さがびより	本 年	26.1	256	7.8	37.9	
		平 年	30.4	173	7.2	37.8	
		平年比(差)	86	148	(+0.6)	(+0.1)	
ヒヨクモチ	本 年	26.3	432	8.1	42.7		
	平 年	27.5	310	7.7	39.7		
	平年比(差)	96	139	(+0.4)	(+3.0)		
留意点	○水管理により、生育差が生じやすい気象となっている。 ○高温・多照条件下で湛水を継続すると根の機能低下が著しいため、一定の落水期間を取る等根の機能維持に重きを置いた管理に努める。 ○「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」等の品種では、追肥の時期を迎えているため、時期を逸しないよう施用する。						

注1)「夢しずく」、「ひなたまる」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期 5/26, 播種量 湿粳 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期 5/27 播種量 湿粳 180g/箱)

2)栽植密度:「夢しずく」は、条間 30 cm × 株間 17 cm, 19.6 株/m²(65 株/坪)

「ひなたまる」は、条間 30 cm × 株間 18 cm, 18.5 株/m²(60 株/坪)

「さがびより」は、条間 30 cm × 株間 20 cm, 16.7 株/m²(55 株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間 30 cm × 株間 15 cm, 22.2 株/m²(73 株/坪)

3)栽培管理:施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、 $\pm 1\sigma$ の外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値を7月9日に換算した値。

5)「ひなたまる」については R6 年産から試験開始のため、前年との比較。

6)概況欄の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94 以下、やや低い(やや少ない): 95～98、平年並み: 99～101、

やや高い(やや多い): 102～105、高い(多い): 106 以上。

【窒素の時期別施用量（N kg／10a）】

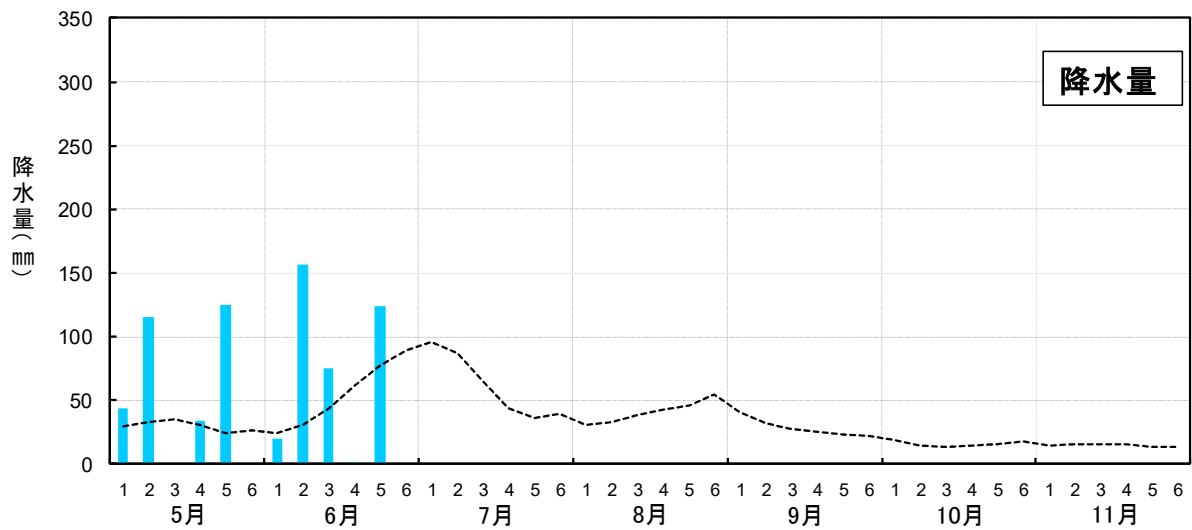
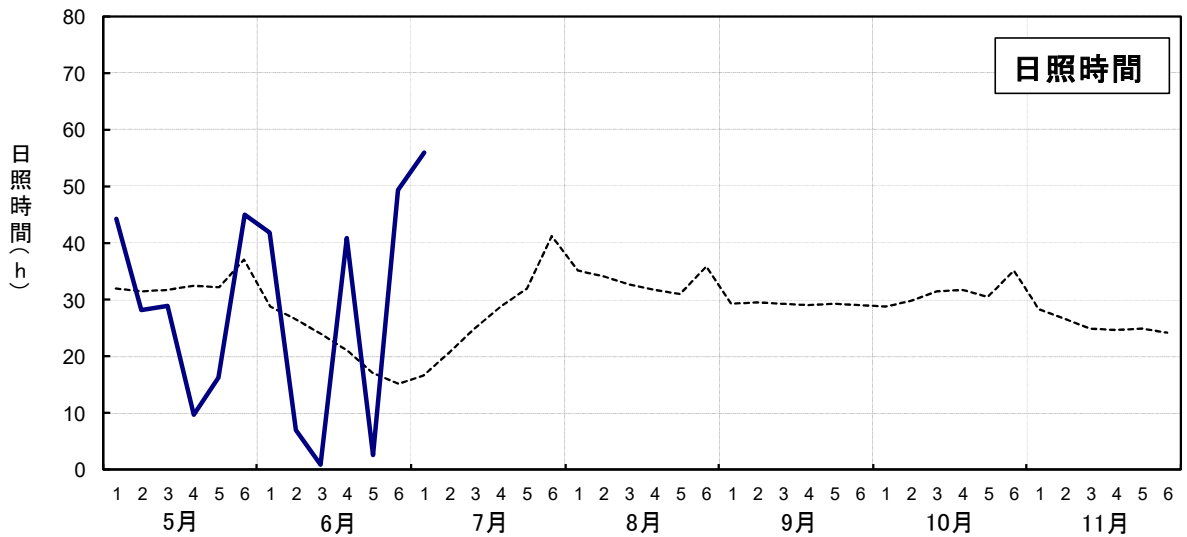
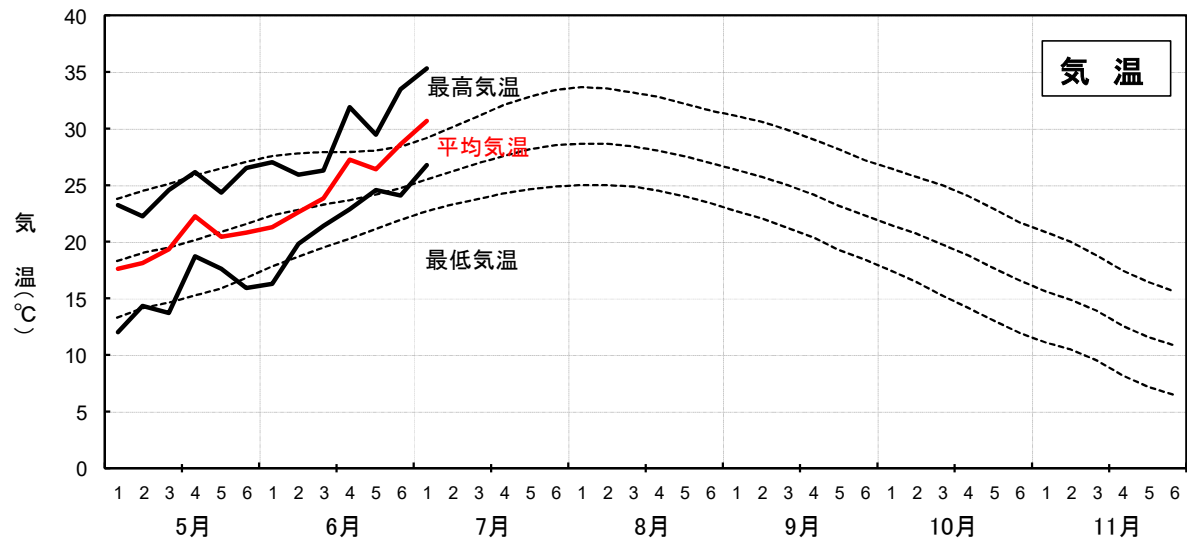
品 種	基 肥	中 追	穂肥Ⅰ	穂肥Ⅱ	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/9)	3.0	—	—
ひなたまる	4.0	2.0(7/9)	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

令和7年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当



●病害虫に関する情報は以下のリンク(農業技術防除センター病害虫防除部)より確認ください。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>